

表現力・説明力向上セミナー

みなさんの表現力、説明力、論理力を1日間で向上させます

「あなたの説明はわかりにくい、もっと順序立てて話せないの!」「言わんとしているところがどうもピンとこない!」「結論から報告できていない」等の問題点を解決する技術を習得します。本セミナーではビジネス説明シーンの基本となる「正確に捉え、簡潔に整理し、的確で、説得力をもって相手に伝える」技術を1日で習得します。その技術は論理的コミュニケーションです。すなわち説明における論理的な話の組み立て方を学びます。従って、「単に話上手になる」だけではなく報連相、提案、ビジネス説明全般に論理性を持たせることで論理思考力そのものの向上も図ります。

- 【主催】** 株式会社アスカム (<http://ascam.co.jp>)
東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー4階
- 【共催】** 株式会社日本ラーニングシステム (<http://www.j-learning.co.jp/>)
東京都中央区日本橋2-3-6 協同ビル5階
- 【対象】** すべてのビジネスパーソン(若手社員、営業職、管理者は特にお勧めいたします) 企業の人事・教育担当者 等
- 【開催日程】** 平成24年6月12日(火) 9:30~17:30
- 【受講料】** 26,250円(税込)※昼食は用意いたします。
申込書確認後、受講証・請求書を送付いたします
- 【定員】** 20名
- 【会場】** 会議室「内海」セミナールーム
〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-6-15 (JR水道橋駅 徒歩1分) TEL03-3261-0017
- 【お問合わせ】** 株式会社アスカム 人材開発セミナー事務局 TEL03-6890-8239
- 【キャンセルについて】** 開催日の3日前~前日までは30%、開催当日は全額をキャンセル料と申し受けますので、予めご了承下さい。

講師 山添 均 氏

中央大学法学部卒業
株式会社日本ラーニングシステム
取締役副社長
ロジカル研修シリーズや階層別研修等を通して「論理思考」研修を専門分野とする。
主な研修実施企業：日立製作所、ソニー、パナソニック、東芝、NTT東日本、スズキ、住友商事、伊藤忠商事、りそな銀行、日興コーディアル証券、大正製薬、三菱自動車工業、東京電力、関西電力、テレビ朝日 徳島県庁、他多数

セミナー内容

1. オリエンテーション

- (1) 論理的コミュニケーションの重要性
- (2) そのために必要な論理的に「話す力」「書く力」「考える力」とは
- (3) 3つの力を同時に向上させる技術、フォーメーション(論理)化技法とは

2. 導入実習 「ミニプレゼンテーション(自己流説明)」

- (1) 与えられた課題に対して自己流で内容を考えてプレゼンテーションし、短時間で内容を考え、わかりやすく説明(文章化)することがいかに難しいかを知る
- (2) 2人組での発表
- (3) 自分自身の説明力の振り返り
 - ① 自分の説明は、何が上手く出来ていないのか
 - ② どのような点を改善して説明や文章作成上手になりたいのかを明確に設定するー講師の個別指導ー

3. 講義と演習 「論理的コミュニケーション その1 全体フォーメーション」

- (1) 論理的説明をする上で最も重要となるテーマ設定のあり方
- (2) 相手が納得する結論づけのあり方(自分は何を伝えたいのか)ー結論設定のコツ
- (3) 説明全体の論理的組み立て方(序論・本論・終論の筋道)等

4. 演習 「論理的コミュニケーション その2 本論部分のまとめ方ー高低フォーメーションー」

- (1) 高低フォーメーションをマスターするー業務改善提案モード
- (2) 演習問題を通じて、高低フォーメーションの基本的な構造を学ぶ 等ー講師の個別指導ー
- (3) 仕事のどのような場面で高低フォーメーションを活用するのかを知る (4) 実務活用事例の紹介 等

5. 演習 「論理的コミュニケーション その3ー本論部分のまとめ方 比較フォーメーションと相関フォーメーションー」

比較(製品説明モード)、相関フォーメーション(上司への報告モード)をマスターする 進め方は高低フォーメーションに準ずる

6. 総仕上げ実技「論理的説明実技」

ー講師の個別指導と習得認定ー 総合アドバイス 等

総合まとめ 本技法を完全に自分の技術として定着させるためのコツー研修後にどのような事をすれば良いのかー

人材開発セミナー申込書

セミナー事務局 行

FAX:03-3517-6577

お申込みのセミナー に○をつけて下さい	ロジカルプレゼンテーションセミナー		
	ロジカルコミュニケーションセミナー		
会社名	(フリガナ)		
申込担当者	氏名		
所属部署名		役職	
ご連絡先	TEL		
	住所	〒	
	E-mail		

参加者氏名		
所属部署名	役職	(フリガナ) 氏名

※枠内ご記入の上、この用紙をFAXでお送りください。

お問い合わせ 日本ラーニングシステム セミナー事務局

TEL. 03-3517-6566 FAX. 03-3517-6577

E-mail : seminar@j-learning.co.jp